2026年11月９日

各　位

会 社 名　日本紙パルプ商事株式会社
代表者名　代表取締役社長　社長執行役員
渡辺　昭彦
（コード番号：8032　東証プライム市場）
問合せ先　上席執行役員 管理本部本部長
藤井　賢一郎
（TEL：03-3534-8522）

2027年３月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年５月13日に公表した2027年３月期の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（１）2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	15,500	15,000	8,000	73.85
今回修正予想（Ｂ）	13,000	12,000	6,000	55.29
増減額（Ｂ－Ａ）	△2,500	△3,000	△2,000	－
増減率（％）	△16.1	△20.0	△25.0	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	10,848	10,887	4,720	39.50

（注）当社は、2026年８月７日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項について決議しております。「１株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

（２）修正の理由

海外卸売セグメントでは、主要市場の一つである欧州における需要低迷の継続により、収益が当初計画を下回る見込みです。また、ドイツ子会社では、これまでの事業構造改革施策に一定の進捗が見られる一方、さらなる収益改善に向けた追加費用の計上を見込んでおります。

環境原材料セグメントでは、木質バイオマス発電所向け燃料について、国内スポット市場価格が低迷する一方、仕入価格は低下せず、また販売数量も減少したことから、収益は当初計画を下回る見込みです。

これらの要因により、各段階利益が前回発表予想を下回る見込みとなることから、2027年３月期の通期連結業績予想を修正いたします。

なお、セグメントごとの経常利益（セグメント利益）予想は次のとおりです。

（単位：百万円、％）

	前回発表予想 （A）	今回修正予想 （B）	増減額 （B－A）	増減率
国内卸売	6,000	6,200	＋200	＋3.3
海外卸売	4,200	1,400	△2,800	△66.7
製紙加工	7,800	7,800	－	－
環境原材料	1,500	800	△700	△46.7
不動産賃貸	1,300	1,400	＋100	＋7.7
調整額	△5,800	△5,600	＋200	－
計	15,000	12,000	△3,000	△20.0

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上